

# eお菓子ねっと データ・ガイドライン

1.	「 共通事項 」	- 1 -
2.	「 発注データ 」	- 7 -
3.	「 出荷報告データ 」	- 14 -
4.	「 販売報告データ 」	- 23 -

第 I 版(ver1.5)作成

2014.02.25

第 II 版(ver2.1)作成

2015.01.15

## I. はじめに

このガイドラインは、卸売業・メーカー間において、企業間EDIシステムを実施するにあたり、両者間での運用をスムーズに行い、システムを標準化することにより、流通の合理化を進めるためのものである  
このガイドラインの各項目の内容および使用方法、運用時の基準と標準化のためのチェックポイントとして活用し、業界標準に基づいた企業間EDIシステムの実現に役立つ事を期待する

### 1. 受発注システム とは

発注者・受注者間の注文内容を、従来の電話・FAX・伝票によるものから、コンピュータによる通信手段に変え、双方の業務の効率化、注文にかかわる時間の短縮、および人間によるミスの防止をねらいとするシステムである

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| ① 発注データ   | 発注者から受注者への商品の発注情報の伝達データ    |
| ② 在庫予定データ | 受注者から発注者への商品の在庫・欠品情報の伝達データ |
| ③ 受領データ   | 発注者から受注者への商品の受領情報の伝達データ    |
| ④ 返品通知データ | 発注者から受注者への商品の返品情報の伝達データ    |

### 2. 出荷請求システム とは

受注者から発注者への納品内容を、従来の伝票によるものから、コンピュータによる伝達方法に変え、双方の業務の効率化(受注者は伝票作成、伝票送付；発注者は納品伝票の確認等)人間によるミスの防止をねらいとするシステムである

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| ① 出荷報告(直送)データ | メーカーから卸売業への出荷報告の伝達データ |
| ② 請求データ       | メーカーから卸売業への請求案内の伝達データ |
| ③ 支払データ       | 卸売業からメーカーへの支払結果の伝達データ |

### 3. 販売実績(販売報告)システム とは

卸売業よりメーカーへの小売店からの販売実績報告書を、従来の帳票(実績報告書)からコンピュータによる通信手段に変え、双方の業務の効率化、処理方式の標準化をねらいとするシステムである

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| ① 販売報告データ | 卸売業からメーカーへの小売店への販売実績の伝達データ |
|-----------|----------------------------|

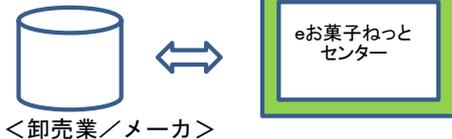
### 4. 販売促進金システム とは

メーカー・卸売業・小売間にて、販売促進企画(プロモーション)を取り決めた際、販売促進金精算を伴う販売促進条件設定がある場合、販売条件の提示、販売条件の精算(請求・支払)を正確かつ迅速に行い、メーカー・卸売業双方の事務処理を軽減するためのシステムである

- |               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| ① 販促金案内・支払データ | メーカーから卸売業へ販促金条件の提示(案内)、支払結果の伝達データ |
| ② 販促金請求データ    | 卸売業からメーカーへ販促金請求の伝達データ             |

## II. データの受け渡し方法

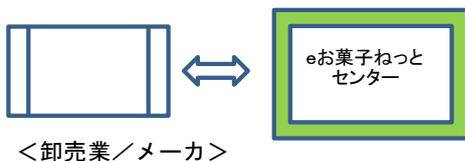
### 1. オンライン(EDI)



＜通信手段＞

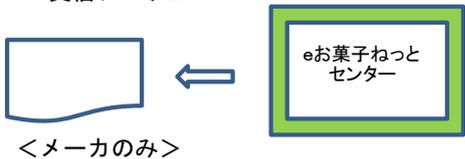
- ・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
- ・次世代インターネット手順  
(インターネット利用(ebXML MS/JX))
- ・JCA/全銀BASIC(電話回線)(期間限定)

### 2. オンライン(Web2008)



- ・インターネット利用(Web)

### 3. FAX受信システム



- ・FAX受信(電話回線(公衆/ISDN))  
(データ化は不可能)

### 4. eお菓子ねっとセンターの機能

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| ① 受け渡し手段の調整が出来る | (異なる媒体のデータの受け渡しが可能) |
| ② データの変換が出来る    | (新規⇄現行フォーマット変換等が可能) |
| ③ データの保全機能がある   | (通信トラブル対応等が可能)      |

## III. 運用方法

### 1. トラブルと対策

#### (1) ハード

- ① オフライン(電話・FAX等の手作業他)による出荷対応も出来るよう体制を整える
- ② 入力作業の為の時間を要する為、締め時間等変更すること等を考慮する
- ③ 事情により双方の営業間で、運用を検討する必要がある

## (2) データ

- ① 他社のデータを受信した場合
  - ・ eお菓子ねっとセンターに連絡すると同時に、相手方(送信元)に連絡する
- ② データが読めない場合(システム変更時等の場合)
  - ・ 受信側のシステム担当者が、eお菓子ねっとセンターに連絡し、対応を決める
- ③ データの必須項目が埋まっていない場合
  - ・ データ準備時にフォーマットの必須項目を確認し、テストを十分に行う
  - ・ データのセット内容に不備がある場合は、新フォーマットではエラーとなる場合があるので新規導入時や拡大時には、注意が必要である
- ④ コードにアンマッチがある場合
  - ・ データ作成時にコードの管理マスタを参照し、アンマッチが出ないように確認する
- ⑤ データの送信側は、データを再作成出来るよう考慮しておく
- ⑥ 実際の受信件数とオンライン情報として得た送信件数を確認し、データ漏れのチェックを怠らない

## 2. 運用

### (1) 訂正方法

- ① 伝達方法、訂正方法について、前もって企業毎に確認しておく
- ② eお菓子ねっとセンターのトラブル連絡
  - ・ eお菓子ねっとホームページ掲示による連絡
  - ・ 障害FAXの発信と受信
- ③ 日付・漏れ・ダブリ等のミスに気付いた場合には、直ちにデータ交換の相手方に連絡し、その対処方法を明確にする
- ④ 受発注システムの確認項目は、次のものが挙げられる  
発注日、納品日、卸伝票No、届先、商品名、入数、発注数量 等
- ⑤ 出荷請求システムで、次の項目にミスがあった場合には、データ提供者が赤・黒(伝票単位での取消データと訂正データ)訂正を行い、当該データの受け渡し日を明確にする (二重訂正の防止)  
(帳合先、取引先、商品、数量、単価、金額、出荷区分 等)

### (2) 機密保護

- ① ユーザーとeお菓子ねっとセンター間で、パスワードを設定し、パスワード相違が発生した場合は、通信が出来ないようにして、データの安全性を確保する
- ② パスワードに関しては、双方が責任をもって厳重な管理を行う必要がある  
また、パスワードの設定についても、接続開始時に慎重に決定する必要がある
- ③ eお菓子ねっとセンターは、機密を遵守する

### (3) データのセットについて

- ① 指定がある場合を除き、Xタイプの項目は左詰め、残りはスペースをセットする  
「X項目は漢字コード区分および日本語区分に応じたスペース(半角/全角)をセットする」  
※ 1つの項目の中で、「半角」と「全角」の同時セットは認めない。  
ex. 漢字コード区分 日本語区分(二次店) 二次店名  
1:S-JIS 0(英数カナ) X' 20' 埋め  
1:S-JIS 1(漢字) X' 8140' 埋め  
3:JEF 0(英数カナ) X' 40' 埋め  
3:JEF 1(漢字) X' 4040' 埋め
- ② 9タイプの項目は右詰め、残りは“0”で左詰めでセットする (例) " 00000900"
- ③ データのセットを行わない場合には、Xタイプの項目には、半角スペースまたは全角スペースを、9タイプの項目には、必要桁数に、“0”を埋める (例) " 00000000"
- ④ 年号  
年号は、手形期日等を除き、西暦年号を原則とする (例 2015 年)
- ⑤ 漢字の使い方  
J I Sコード第一水準、第二水準以外 は使用しない  
※ 範囲外の文字コードがセットされた場合、受信側では文字化けが発生するなど、非常に大きな業務影響が出る  
指定されたコード範囲以外の文字コードの利用は一切禁止とする  
(もし、コード範囲以外の文字コードが利用された場合は、“?”文字に変換される)  
※ 新フォーマットのE D Iデータのセット時は、漢字のシフト・コードは省略する  
※ 漢字データは、拠点別データ種毎にセンターに利用漢字コードを登録することにより、自社の利用漢字コードに変換して受信することが可能となる。(未登録時は、S-J I Sとなる)
- ⑥ 明細データのセットを行わない場合(販売報告データの横持ちの設定要領)  
→無効な明細は明細全体でスペースをセットする  
ex. 2明細まで有効 → 3明細目~5明細目は全体を半角スペースをセットする





4. スケジュール調整

稼働に至るまでの準備やテストのスケジュールと、稼働後現在のやり方と異なる作業の流れを、周知徹底させる

5. 約束事の文書化(契約書、覚書)

運用基準書の内容により、企業間にて打合せた約束事を確認する意味で、文書化を行っておく

- ・データ交換内容 対象データ、対象企業、データ守秘義務
- ・集計単位 明細、日計、週計、旬計、月計 etc
- ・提供日と取引日の関係 休業日の対応 土曜日曜、祝祭日、年末年始
- ・トラブル対応、実施期間、開始時期、契約期間
- ・その他具体的運用に関する事項、コスト負担他

6. 連絡窓口

各企業担当窓口を明確にしてスムーズな運営を目指し、トラブル発生時に協力して解決に当たる

- ・データ項目の内容の問い合わせ、トラブル発生時の原因究明、対策実施

VI. 各データの共通事項

1. フォーマット用語の説明

No.	項目No.
現/新	現/新フォーマットの新規/変更を表示
	◎ : 新規項目
	○ : 変更項目
	△ : 変更なし項目
位置	その項目のレコードの中の相対位置 (1~1200)
桁数	その項目の実際桁数(漢字の場合は、シフトコードなしの桁数)
項目説明	その項目に対する簡易な説明
必須	必須項目か否か
	"数値" : 固定値
	◎ : 必須 データのセットが必要(ゼロはエラーとなる)
	○ : 必須 データのセットが必要(ゼロはエラーとならない)
	△ : 任意 必要な場合のみ、データをセットするが、属性クリアーは必要 (X項目の属性クリアー : 半角スペースまたは全角スペースをセットする) (9項目の属性クリアー : 9項目は指定桁分ゼロをセットする)
チェック	項目チェック内容
	登録 : 送信先・送信元・直接送信先等、センター登録有りかをチェックする
	必須 : 数値はゼロデータのセットが必要(ゼロはエラーとなる)
	コード : 項目説明にデータのセットが必要(ゼロはエラーとならない)
	年月日 : 年月日または"000000"をチェックする
	時刻 : 時刻(HHMMSS/HHMN)または、"0000"をチェックする
変更点/注意点	現行フォーマットからの変更点、注意事項、特記事項
設定値(例)	"データ"セット例

2. レコード長

- ・現行フォーマット 256 バイト
- ・新規フォーマット 1200 バイト

3. 取引先の取引形態

< 一次店コード~チェーンコードの利用形態 >

	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)
① 店入れ(倉入れ)	A卸売業			A卸売業	
A卸売業本社に直接納品する	M-カの請求先				
② 店入れ(倉入れ-倉庫)	A卸売業			A卸B倉庫	
A卸B倉庫に直接納品する	M-カの請求先				
③ 店入れ(卸支店倉入れ)	A卸売業			A卸B支店	
A卸B支店に直接納品する	M-カの請求先				
④ 店入れ(センター納品)	A卸売業		C納品センター	A卸B支店	
C納品センター一括納品する	M-カの請求先		センター納品	A卸B支店扱い	
⑤ 直送(二次店納品)	A卸売業	D二次店		D二次店	
D二次店に直送納品する	M-カの請求先	A卸の請求先			
⑥ 直送(二次店デポ納品)	A卸売業	D二次店		E二次店デポ	
E二次店デポに直送納品する	M-カの請求先	A卸の請求先			
⑦ 直送(三次店納品)	A卸売業	D二次店	F三次店	F三次店	
F三次店に直送納品する	M-カの請求先	A卸の請求先	D二次店請求先		
⑧ 直送(三次店デポ納品)	A卸売業	D二次店	F三次店	G三次店デポ	
G三次店デポに直送納品する	M-カの請求先	A卸の請求先	D二次店請求先		
⑨ 直送(二次スーパー店舗)	A卸売業	D二次店		H二次スーパー	J店舗
H二次/J店舗に直送納品する	M-カの請求先	A卸の請求先			
⑩ 直送(二次スーパー店舗)	A卸売業	D二次店	K納品センター	H二次スーパー	J店舗
K納品センター一括納品する	M-カの請求先		センター納品		

4. 主な変更項目の説明

- ① 卸発注伝票No. 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする  
(6桁→8桁に変更) 8桁運用 現行フォーマットは上2桁と下6桁を分離する
- ② メーカー伝票No. 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする  
(6桁→8桁に変更) 8桁運用 現行フォーマットは下6桁のみをセットする
- ③ 元伝票No. 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする  
(6桁→8桁に変更) 8桁運用 現行フォーマットは下6桁のみをセットする
- ④ 漢字コード区分 拠点取引先／データ種毎に、e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分がセットされてくる  
(未登録の場合のデフォルト値)  
1 : S-J I S  
2 : J I S  
3 : J E F  
4 : I B M
- ⑤ 日本語区分 該当の項目の日本語の区分を指定する  
b/0 : 英数カナを指定 または 無指定  
1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による)
- ⑥ 取引先区分 該当の項目の取引先の属性区分を指定する  
b : 統一取引先コードを指定 または 無指定  
6 : G L Nコードを指定  
7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定  
8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- ⑦ 店入直送区分 店(倉)入れまたは直送等を判断する  
1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等  
2 : 直送 二次店納品等  
3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合  
4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合
- ⑧ 伝票合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い)  
二次店納入合計金額 (※ex 01~03明細行: ゼロ、04明細行: 合計をセットする)

	明細行数	伝票合計金額	明細行No.	卸店入金額
1明細目	00	00000000	01	00005800
2明細目	00	00000000	02	00007800
3明細目	00	00000000	03	00012500
4明細目	04	00036600	04	00010500

- ⑨ 消費税区分 消費税の税区分を指定する  
1 : 外 税 3 : 非課税  
2 : 内 税 b : 個別判断  
※ もし、明細によって、消費税区分が変わる場合は、異なっても良いこととする  
(1明細目: 1(外税)、2明細目: 3(非課税)、3明細目: 1(外税))
- ⑩ 商品添付区分 相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合  
b : 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる)  
1 : 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる)  
2 : 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる)  
3 : 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)

- ⑪ 卸最新在庫日付 製造日と賞味期限の違いを説明する  
入庫許容日付 製造年月日 : 製品を製造した西暦年月日 (ex. 20140118)  
実入庫製品日付 賞味期限(日) : 製品を製造した日+賞味期限(日換算)した西暦年月日  
(20140118製造+賞味期限(45日)→20140304)  
賞味期限(月) : 製品を製造した日+賞味期限(月換算)した西暦年月日  
(20140118製造+賞味期限(9ヶ月-1末)→20140930)

5. データ種一覧表

No.	データ種類	現システム	新システム	
データ種類	発注データ	02	03	
	入庫予定データ	11	13	
	受領データ	12	14	
	返品通知データ	19	18	
	出荷報告(直送)データ	22	23	
	請求データ	33	33/35	※35⇔33間の新規⇔現行変換は行わない
	支払データ	34	34/36	※36⇔34間の新規⇔現行変換は行わない
	販売報告(店出し)データ	42	43	
	販促金案内支払データ	51	51	
	販促金請求データ	52	52	

## I. システムの目的

## 1. メーカー

- ① 受注出荷業務の効率化  
・受注入力作業の省力化・標準化・正確化
- ② 需給・物流作業の効率化  
・大量のデータが一括して入手出来る為、商品需給・物流配送を効率化できる
- ③ 情報の一元管理  
・受注⇒出荷⇒配送⇒納品⇒請求⇒決済を一元的に管理出来る

## 2. 卸売業

- ① 発注業務の省力化  
・自動発注システム等の活用で、大幅に発注業務を軽減化できる
- ② 情報の一元管理  
・発注⇒入庫⇒仕入⇒受領⇒支払を一元的に管理出来る

## II. システム運用方法

## 1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より、発注データをeお菓子ねっとセンターに送信する  
(1回の送信で、複数のメーカー宛に送信が可能である)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の発注データを受け取る  
(1回の受信で、複数の卸売業からの発注データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類  
・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))  
・次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))  
・Web2008システム(インターネット利用)  
・FAX受信システム(データ化は不可能)

## 2. データの授受

- ・通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内にメーカーが受信可能となる  
(ピーク時間帯は、最大60分程度要する)

## 3. 欠品連絡または訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる再発注か、納品日の訂正か、分割納品か、運用を決める
- ・原則として、欠品連絡表(FAX・メール)等で連絡する

## 4. 運用確認事項

- ① 受注締め時間  
・メーカーの受注締め時間の確認と出荷日の確認  
<締め時間が11時の場合>
  - ・「当日の出荷日」の発注データは、納品日が翌日迄で、前日迄の受信済分と当日の締め時間(11時)迄に、メーカーが受信したもの
  - ・「翌日の出荷日」の発注データは、納品日が翌々日迄で、当日迄の受信分と翌日の締め時間(11時)迄に、メーカーが受信したもの
- ② 納品場所、納品条件
  - ・届け先名への納品か、センター一括納品か
  - ・土・日・祝祭日の納品条件
  - ・納品時間指定条件
  - ・欠品・訂正連絡方法、分割納品が可能か
  - ・トラブル時の連絡方法、
  - ・商品コード変更・商品案内の伝達方法
  - ・納品日の変更か、再発注かの取り決めを事前に確認しておく
  - ・納品日(メーカー売上計上日)は、一次納品先(センター等)を原則とする。

### III. レコード構成

#### 1. 「発注データ」のレコード構成

コントロール・レコード	1	(1200桁)	}	同一送信先単位	
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-03	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-04	(1200桁)			(同一ヘッダーmax6明細)
ヘッダー明細レコード	3-05	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-06	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)			(同一ヘッダーmax6明細)
ヘッダー明細レコード	3-03	(1200桁)			
:	:				
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)			(同一ヘッダーmax6明細)
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)			
トレーラ・レコード	9	(1200桁)			
コントロール・レコード	1	(1200桁)	}	同一送信先単位	
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)			
:	:				
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)			(同一ヘッダーmax6明細)
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)			
ヘッダー明細レコード	3-03	(1200桁)			
トレーラ・レコード	9	(1200桁)			

### IV. 発注データ

#### 1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	発注データであることを表わす	「03 : 発注データ」
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカ)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	「01010001」
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	「02841001」
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	「1」
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	卸売業が発注データ作成した西暦年月日を指定	「20130925」
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	卸売業が発注データ作成した時間を指定(時分秒)	「221500」
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカ)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	「イ`モ ショクヒン トウキョウ」
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	「ニホン ショウジ」
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカ)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する (※センター登録チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	「02100011」 「00000000」
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカ)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	「イ`モ ショクヒン 材物」 「 ]
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	「01~99」 「00」
(12) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	現行フォーマット⇒新規フォーマットに変換された場合の 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用)	「xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx」

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する  
 ※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

- (1) データ種別 (数字 2桁) 発注データであることを表わす 「03:発注データ」
- (2) 送信先コード (数字 8桁) 送信先(メーカー)の拠点取引先コードを指定 「01010001」
- (3) 送信元コード (数字 8桁) 送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定 「02841001」
- (4) レコード区分 (数字 1桁) ヘッダー明細レコードであることを表わす 「3」
- (5) 漢字コード区分 (数字 1桁) e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が (未登録は1:S-JIS) セットされてくる (1:S-JIS, 2:JIS, 3:JEF, 4:IBM)
- (6) 卸発注伝票No. (数字 8桁) 卸売業が伝票ヘッダー単位に発注No.をセットする 「00101011」  
 卸売業が発注データを区別する為に、ユニークなNo.をセットする  
 発注月単位で、ユニークなNo.の付番が望ましい
- (7) 店入直送区分 (数字 1桁) 店(倉)入れまたは直送等を判断する 「1」  
 1:店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等  
 2:直送 二次店納品等  
 3:店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合  
 4:直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合
- (8) 取引コード (数字 2桁) 卸売業-メーカー間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード)  
 11:店入売上 店入れ分の通常出荷 12:店入売上訂正  
 21:店入返品 店入れ分の返品 22:店入返品訂正  
 31:直送売上 直送分の通常出荷 32:直送売上訂正  
 41:直送返品 直送分の返品 42:直送返品訂正  
 51:割戻し金 割戻し金処理する場合 52:相殺 売上相殺する場合
- (9) 納品日/引取日 (数字 8桁) 卸売業が指定した納品日(着荷日) (西暦) 「20130926」  
 卸売業がメーカーに引取りに来る引取日
- (10) 納入時間(自) (数字 4桁) 卸売業が指定した納品/引取開始時間(時分) 「0830」 「0000」
- (11) 納入時間(至) (数字 4桁) 卸売業が指定した納品/引取完了時間(時分) 「0945」 「0000」
- (12) 発注日 (数字 8桁) 卸売業の発注日を指定する (西暦) 「20130925」 [00000000]
- (13) 明細行数 (数字 2桁) 1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数(00, 01~06) 「04」
- (14) 一次店コード (文字13桁) 卸売業の請求取引先コード 「02100001」
- (15) 二次店コード (文字13桁) 直送する場合の二次店の取引先コード 「03510011」
- (16) 三次店コード (文字13桁) 直送する場合の三次店の取引先コード 「08510021」  
 センター納品する場合のセンターの取引先コード 「1100」  
 (プライベートコード可)
- (17) 届け先コード (文字13桁) 通常は、納品する届け先の取引先コード 「02100001」  
 センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード
- (18) チェーン店コード (文字13桁) 店舗コード (プライベートコード可) 「1011」

	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)
・店入れ(倉入れ)	A卸売業			A卸売業	
・店入れ(卸支店倉入れ)	A卸売業			A卸B支店	
・店入れ(センター納品)	A卸売業		(納品センター)	A卸C支店	
・直送(二次店デポ納品)	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送(三次店デポ納品)	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送(二次スーパー店舗)	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送(二次スーパー店舗) (センター納品)	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	a	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)
	b	中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001~999)
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001~9999)
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(491234500001c)
		事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)
卸プライベートコード	7		3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789
メーカープライベートコード	8		3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679

(19) 専用伝票日付 (数字 8桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票日付を指定 (西暦)	「20130926」
(20) 専用伝票No. (数字 9桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票No.を指定	「123456789」
(21) 伝票合計金額符号 (文字 1桁)	伝票合計金額の符号 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	「+」
(22) 伝票合計金額 (数字 8桁)	明細の卸店入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)	「00094500」
(23) 二次店納入合計金額符号 (文字 1桁)	二次店納入合計金額の符号 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	「+」
(24) 二次店納入合計金額 (数字 8桁)	明細の二次店納入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)	「00082035」 [00000000]
(25) 一次店名 (文字 40桁)	一次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	「イズモ ショウケン トウキョウ」 「出雲商事 東京」
(26) 二次店名 (文字 40桁)	二次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	「マツイ ショウテン」 「松江商店」
(27) 三次店名 (文字 40桁)	三次店名(センター納品先名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	「ヤスキ ストア」 「安来ストア」
(28) 届け先名 (文字 40桁)	届け先名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	「マツイ ショウテン Aソウコ」 「松江商店 A倉庫」
(29) チェーン店名 (文字 40桁)	チェーン店名(店舗名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	「シンジ コテン」 「宍道湖店」
(30) 電話番号 (文字 15桁)	届け先の電話番号を指定する(“-”を含む)	「0852-92-3199」
(31) 住所 (文字 80桁)	届け先の住所を指定する 英数カナ(60文字) 漢字の場合は、実質は30文字	「シマネケン マツイン アオハダイ 2-11-1」 「島根県松江市青葉台2-11-1」
(32) メーカー・コード (文字 9桁)	メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx /45xxxxxxxx)	「4912345bb」
(33) メーカー所属組織名 (英数カナ 10桁)	メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定 (実質、運用上はスペースが多い)	「マツイ シテン」
(34) 伝票区分 (数字 1桁)	伝票発行区分を指定する 0 : 菓子統一伝票 1 : フェンスト7統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票No.が印刷されていないもの) 2 : 専用伝票(伝票No.あり) (専用伝票No.を表示できるもの) 3 : 専用伝票(伝票No.なし) (専用伝票だが、元伝票No.を表示できないもの) 4 : フェンスト7統一伝票 (ターアラウンド用) 8 : 伝票レス (伝票レス納品の場合)	「0」
(35) 定番特売区分 (文字 1桁)	定番発注/特売発注を指定する 0 : 定番 1 : 特売 b : 分類不能	「0」
(36) ロット不足運賃負担区分 (文字 1桁)	発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 b : 無指定 1 : 卸売業負担あり 2 : 卸売業負担なし	「」
(37) 下請法 : 伝票表示区分 (文字 1桁)	下請法関係の伝票表示の有無区分 b : 表示なし 1 : 表示あり	「」
(38) 下請法 : 伝票表示内容 (文字 80桁)	下請法関係の伝票表示内容を指定する 英数カナの場合(80文字) 漢字の場合は、実質は40文字(伝票表示上)	「松江商店扱い」
(39) 下請法 : 日本語区分(表示) (文字 1桁)	下請法関係の伝票表示内容の日本語区分を指定する b/0 : 英数カナ 1 : 漢字(S-JIS/IBM/JEF/JIS)	「」
(40) 下請法 : 支払期限 (数字 8桁)	下請法関係の支払期限を指定する (西暦)	「20151031」

- (41) 消費税区分 (文字 1桁) 消費税の税区分を指定する 「1」  
 1 : 外税  
 2 : 内税  
 3 : 非課税  
 b : 個別判断
- (42) 消費税率 (数字3桁) 消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) 「050」  
 "050" : 消費税 : 5.0 %
- (43) 摘要 (文字 50桁) 伝票ヘッダー部の適用文字を指定する  
 英数カナ (50文字) 「オンライントクデンアリ ゴゼンチュウ ニ ノウヒン」  
 漢字の場合は、実質は25文字 「オンライン特伝有り 午前中に納品」
- (44) 取引先区分 (文字 1桁) 該当の項目の取引先の属性区分を指定する 「」  
 b : 統一取引先コードを指定 または 無指定  
 6 : G L Nコードを指定  
 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定  
 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- ※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする
- (49) 日本語区分 (文字 1桁) 該当の項目の日本語の区分を指定する 「」  
 b/0 : 英数カナを指定 または 無指定  
 1 : 漢字を指定  
 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による)  
 (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)
- (56) ヘッダー予備 原則、スペース・クリアーとする
- (57) ヘッダー部 (連携エリア) (英数カナ文字 20桁) 現行フォーマットから新規フォーマットに自動コンバートする場合に  
 現行フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリアを連携する  
 新規フォーマットでは、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である
- (58) 明細行No. (数字 2桁) 1伝票 (ヘッダー) 内の明細行No.を指定する (01~06) 「01」
- (59) 専用伝票行No. (数字 2桁) 専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する 「00」  
 (00~30)
- (61) 商品コード識別区分 (数字 1桁) 次の品番 (商品コード) の識別区分を指定する [品番へのセット値]

0	統一商品コード メーカー・コードが7桁の場合 [000]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカー・コードが9桁の場合 [0]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]
1	ITFコード (14桁) メーカー・コードが7桁の場合 [P]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [P]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013 ] [14912345671018 ]
2	ITFコード (16桁) <b>【利用停止化】</b> メーカー・コードが7桁の場合 [OPP]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [OPP]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[0104912345100022] [0104912345672031]
3	JANコード (標準: 13桁) メーカー・コードが7桁の場合 [メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030 ] [4912345672032 ]
4	JANコード (短縮: 8桁) [メカ識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[49778816 ]
6	GTINコード (14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN (短縮: 8桁)の場合 [000000]+[メカ識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013 ] [14912345671018 ] [04912345100030 ] [04912345672032 ] [0000049778816 ]

- (61) 品番 (文字 16桁) 上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする
- (62) 商品名 (文字 50桁) 商品名を表記する (規格表示+商品固有名称)  
 (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート ]  
 (漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [ X X 75 g ミルクチョコ ]
- (63) 包装区分 (数字 1桁) 数量の発注単位を指定する  
 1 : ケース発注 (外箱/カルトン) 「1」  
 2 : ボール発注 (内箱) 「2」  
 3 : パラ発注 (単品) 「3」
- (64) ボール内バラ数 (数字 6桁) (小数点以下2桁) ボール (内箱) 内の単品の入数 (小数点以下2桁)
- (65) ケース内ボール数 (数字 2桁) ケース (外箱) 内のボール (内箱) の入数  
 <ボール内バラ数> <ケース内ボール数> <バラ換算数量>  
 (1: ケース発注の時) [001200] [06] 「ケース数量×72」  
 (2: ボール発注の時) [001200] [00] 「ボール数量×12」  
 (3: パラ発注の時) [000000] [00] 「バラ数量×1」

(66) 数量符号 (文字 1桁)	以下の数量の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]		
(67) ケース数量 (数字 7桁)	(1: ケース発注の時に、発注ケース数量を指定する) (ボール/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]		
(68) ボール数量 (数字 7桁)	(2: ボール発注の時に、発注ボール数量を指定する) (ケース/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]		
(69) バラ数量 (数字 9桁)(小数点以下2桁)	(3: バラ発注の時に、発注バラ数量を指定する) (ケース/ボール発注の時に、バラ換算数量を指定する)	[0000010] [0000120]		
(70) 卸店入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	卸売業納入単価(建値)を指定する→伝票金額 (バラ単価を指定)	[00008400]		
(71) 二次店納入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	二次店納入単価(正味単価等)を指定する→正味金額 (バラ単価を指定)	[00007800]		
(72) 金額符号 (文字 1桁)	以下の金額の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]		
(73) 卸店入金額 (数字 8桁)	(卸店入価格 * バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00010800]		
(74) 二次店納入金額 (数字 8桁)	(二次店納入価格 * バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00009360]		
(75) 商品添付区分 (文字 1桁)	相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 b : 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる) 1 : 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる) 2 : 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる) 3 : 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)	[ ]		
(76) 入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する (一般品の場合は、00または01をセットする)	[00] [03]		
(77) 卸発注行番号 (数字 2桁)	卸売業での発注伝票行No. (00, 01~99)	[ ] [07]		
(78) 納入単価表示区分 (文字 1桁)	在庫型センター等の納入時に、単価/金額を表示したくない時に指定する b : 表示 1 : 非表示	[ ]		
(79) 卸最新在庫日付区分 (文字 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する (相対運用) b : 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 1 : 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合	[ ] [1] [2]		
(80) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回迄に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 製造日 卸最新在庫日付を製造日で指定する 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で指定する (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20131018] [20141018] [20141031]		
(81) 入庫許容日付区分 (文字 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する (相対運用) b : 未使用 入庫許容日付運用をしない場合 1 : 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合	[ ] [1] [2]		
(82) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する 未使用 入庫許容日付の運用をしない場合 製造日 入庫許容日付を製造日で指定する 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で指定する (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20140118] [20150118] [20150131]		
(83) 温度管理区分 (文字 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する b/0 : 常温 1 : 28℃以下 2 : 20℃以下 3 : 冷蔵(10℃以下) (チルド: 5℃以下) 4 : 冷凍(-15℃以下)	[ ]		
(84) 摘要 (文字 50桁)	明細行に対する適要の文字を指定する 英数カナ(50文字) 「仔フ`シギレ」 漢字の場合は、実質は25文字 「一部品切れ」			
(85) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する b/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)			
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>日本語区分(商品名)</td> </tr> <tr> <td>日本語区分(摘要)</td> </tr> </tbody> </table>	日本語区分(商品名)	日本語区分(摘要)	
日本語区分(商品名)				
日本語区分(摘要)				
(87) 菓子業界商品分類コード (文字 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)を指定する	[132335]		
(88) 明細予備	原則、スペース・クリアーとする			
(89) 明細部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	現行フォーマットから新規フォーマットに自動コンバートする場合に 現行フォーマットの明細レコードの予備エリアを連携する 新規フォーマットでは、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である			

### 3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する

- |                            |   |                          |
|----------------------------|---|--------------------------|
| (1) データ種別<br>(数字 2桁)       | 発注データであることを表わす  | 「03 : 発注データ」             |
| (2) 送信先コード<br>(数字 8桁)      | 送信先(メーカ)の拠点取引先コードを指定                                    | 「01010001」               |
| (3) 送信元コード<br>(数字 8桁)      | 送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定                                     | 「02841001」               |
| (4) レコード区分<br>(数字 1桁)      | トレーラー・レコードであることを表わす                                     | 「9」                      |
| (5) レコード件数<br>(数字 6桁)      | ヘッダー明細レコードの件数<br>(コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く)            | 「000545」                 |
| (6) 伝票枚数<br>(数字 6桁)        | ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数                                 | 「000120」                 |
| (7) 合計金額符号<br>(文字 1桁)      | 合計金額の符号<br>b/+ : 整数 (プラス)<br>- : 負数 (マイナス)              | 「+」                      |
| (8) 合計金額<br>(数字 10桁)       | ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する                                | 「0001200650」             |
| (9) 予 備                    | 原則、スペース・クリアーとする   |                          |
| (10) 連携エリア<br>(英数カナ文字 20桁) | 現行フォーマット⇒新規フォーマットに変換された場合の<br>予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) | 「xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx」 |

## I. システムの目的とねらい

出荷報告データは、発注データと比べ、下記の点で異なるので注意する

- ・一括処理情報である
- ・受発注システムに比べて緊急性が低い
- ・取引確定データである

## 1. 卸売業は、出荷報告データを下記の業務に利用し、事務の合理化を図る事ができる

- ① 直送売上請求データの作成
- ② 得意先へのお荷案内書(データ含む)の作成
- ③ 為替手形付取引の入金データ自動作成(一部企業)
- ④ 割戻しデータの自動作成(一部企業)
- ⑤ 直送仕入れデータの作成
- ⑥ 請求支払照合データの自動作成
- ⑦ 自社倉入れデータとの照合

## 2. メーカーは出荷報告データを提供する事により、下記の事ができる

- ① 出荷案内書の廃止(業態による)
- ② 請求明細書の廃止(請求支払照合自動化企業)
- ③ 利用者は出荷報告データの蓄積を行う

## II. システム運用方法

## 1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② メーカーより、出荷報告データをeお菓子ねっとセンターに送信する  
(1回の送信で、複数の卸売業宛への送信が可能である)
- ③ 卸売業は、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の出荷報告データを受け取る  
(1回の受信で、複数のメーカーからの出荷報告データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
  - ・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
  - ・次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))
  - ・Web2008システム(インターネット利用)

## 2. データの授受

- ・通常、メーカーからeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内に、卸売業が受信可能となる  
(ピーク時間帯は、最大60分程度要する)

## 3. 訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める(できれば、追加訂正を原則とする)

## 4. 運用確認事項

- ① データの提供
  - ・卸売業での実績把握・請求処理を早くする為、原則、日次処理で行い、出荷日を含め3日以内に提供する
  - ・双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を定める
  - ・請求締切日最終データの提供日を明確にする
  - ・1日分のデータが2日に別れて提供される場合がある
  - ・一括データ(何日間かのデータをまとめる)の提供もあり得る
  - ・利用者との休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、締日間際は注意する
- ② テスト方法
  - ・出荷案内書との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 出荷案内書の廃止範囲の明確化
  - ・[店入]と[直送]の明確化
  - [店入直送区分]に明示された内容と取引実態が一致しているか
  - ・出荷報告データの内容の充実
    - 出荷案内書の摘要欄、専用伝票情報表示、物流情報の表示を、出荷報告データに反映出来るか
- ④ 運用ルールを明確にする
  - (1) データ作成時期
    - ・直送データ・・・利用者または得意先から受けた注文に対して納品確認のとれた後、速やかに作成する
    - ・倉入データ・・・受注データに対して納品に応じられるデータは、出荷指図確認後、速やかに作成する
  - (2) コード管理
    - 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
  - (3) トラブル対応
    - 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
    - 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
    - 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータ照合を行い、問題解決する

- ⑤ 請求明細書の廃止
- 卸売業では請求支払の照合業務の効率化の一環として、支払照合の自動化を進めており、照合率のアップが急務の課題であり、出荷報告データの精度を向上し、照合率の向上を図り、重複する[請求明細書]の作成、および送付を廃止するように、メーカー・卸売業で検討を行う事が望ましい
  - 出荷報告データの内容は[請求明細書]と同一とする
  - 卸売業の請求支払照合率の向上は、照合のキーとなる発注No.、出荷伝票No.、元伝票No.・元伝年月日などの自動照合に必要な項目をセットする
  - 卸売業での不照合の要因には、訂正対象となる元伝票が分からない(照合キーが一致しない)ことが多い
  - メーカーは、卸売業の発注No.、元伝票No.、元伝年月日を必ず、出荷報告データにセットする
- ⑥ 卸売業買掛金照合システムの構築
- 照合用データとして、日々のお荷報告データを照合処理を実施する締日まで蓄積する
  - 照合システムの構築  
(蓄積した出荷報告データと自社の買掛データとの締日毎の照合はコンピュータシステムで行う)

### III. レコード構成

#### 1. [出荷報告データ]のレコード構成

コントロール・レコード	1	(1200桁)	}	}	同一送信先単位			
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-03	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-04	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-05	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-06	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-03	(1200桁)						
:	:							
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)	}	}	同一送信先単位			
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)						
トレーラ・レコード	9	(1200桁)						
コントロール・レコード	1	(1200桁)	}	}	同一送信先単位			
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)						
:	:							
ヘッダー明細レコード	3-01	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-02	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-03	(1200桁)						
ヘッダー明細レコード	3-04	(1200桁)						
トレーラ・レコード	9	(1200桁)						

### IV. 出荷報告データ

#### 1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[23 : 出荷報告データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	メーカーが出荷報告データ作成した西暦年月日を指定	[20130925]
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	メーカーが出荷報告データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イズモ ショクビン トウキョウ]

- (9) 直接送信先コード (数字 8桁) 送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる [02100022]  
 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録チェック)  
 変更しない場合はゼロを指定する [00000000]
- (10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁) 送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる [ニホン ショウゲ 材カ]  
 拠点取引先コードに送信する場合に指定する  
 変更しない場合はスペースを指定する [ ]
- (11) 送信ファイルNo. (数字 2桁) 同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する [01~99]  
 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定 [bb]
- (12) 対象期間 (自) (数字 8桁) 請求・支払データの時の対象期間開始年月日(西暦) [20130901]
- (13) 対象期間 (至) (数字 8桁) 請求・支払データの時の対象期間終了年月日(西暦) [20130930]
- (14) 請求先コード(支払元) (文字13桁) 卸売業の請求先取引先コード [02100001]
- (15) 請求元コード(支払先) (文字13桁) メーカーの請求元の取引先コード [03510011]
- (16) 請求元事業所コード (文字13桁) メーカーの請求元事業所の取引先コード [08510021]  
 (プライベートコード可) [1100]
- (17) 請求先名(支払元名) (文字 40桁) 卸売業の請求先名を指定する [イモ ショクビントウキョウ]  
 英数カナの場合(30文字) [出雲商事 東京]  
 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)
- (18) 請求元名(支払先名) (文字 40桁) メーカーの請求元名を指定する [マツエ ショウテン]  
 英数カナの場合(30文字) [松江商店]  
 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)
- (19) 請求元事業所名 (文字 40桁) メーカーの請求元事業所名を指定する [ヨコハマ シテン]  
 英数カナの場合(30文字) [横浜支店]  
 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)
- (19) 取引先区分 (文字 1桁) 該当の項目の取引先の属性区分を指定する [ ]  

取引先区分(請求先)
取引先区分(請求元)
取引先区分(事業所)

 b : 統一取引先コードを指定 または 無指定  
 6 : G L Nコードを指定  
 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定  
 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定  
 ※ 請求先、請求元はプライベート・コードは不可とする
- (20) 日本語区分 (文字 1桁) 該当の項目の日本語の区分を指定する [ ]  

日本語区分(請求先)
日本語区分(請求元)
日本語区分(事業所)

 b / 0 : 英数カナを指定 または 無指定  
 1 : 漢字を指定  
 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による)  
 (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)
- (29) 予 備 原則、スペース・クリアーとする
- (30) 連携エリア (英数カナ 文字 20桁) 現行フォーマット⇒新規フォーマットに変換された場合の  
 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) [xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]

## 2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

- (1) データ種別 (数字 2桁) 出荷報告データであることを表わす [23 : 出荷報告データ]
- (2) 送信先コード (数字 8桁) 送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 [02841001]
- (3) 送信元コード (数字 8桁) 送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 [01010001]
- (4) レコード区分 (数字 1桁) ヘッダー明細レコードであることを表わす [3]
- (5) 漢字コード区分 (文字 1桁) eお菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が (未登録は2: JIS)  
 セットされてくる (1: S-JIS、2: J I S、3: J E F、4: I B M)
- (6) 卸発注伝票No. (数字 8桁) 卸売業が伝票ヘッダー単位に発注No.をセットする [00101011]  
 卸売業が発注データを区別する為に、ユニークなNo.をセットする  
 発注月単位で、ユニークなNo.の付番が望ましい  
 (卸発注伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00"をセットする)
- (7) メーカー伝票No. (数字 8桁) メーカーが伝票ヘッダー単位にメーカー伝票No.をセットする [00101011]  
 メーカーが出荷報告データを区別する為に、ユニークなNo.をセットする  
 出荷月単位で、ユニークなNo.の付番が望ましい  
 (メーカー伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00"をセットする)
- (8) 店入直送区分 (数字 1桁) 店(倉)入れまたは直送等を判断する [1]  
 1: 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等  
 2: 直送 二次店納品等  
 3: 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに行った場合  
 4: 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに行った場合

- (9) 取引コード (数字 2桁) 卸売業-メーカー間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード)  
 11: 店入売上 店入れ分の通常出荷 12: 店入売上訂正  
 21: 店入返品 店入れ分の返品 22: 店入返品訂正  
 31: 直送売上 直送分の通常出荷 32: 直送売上訂正  
 41: 直送返品 直送分の返品 42: 直送返品訂正  
 51: 割戻し金 割戻し金処理する場合 52: 相殺 売上相殺する場合
- (10) 取引年月日 (数字 8桁) 卸売業が指定した納品日(卸売業への着荷日) (西暦) [20130926]  
 卸売業がメーカーに引取りに来た引取日
- (11) 出荷年月日 (数字 8桁) メーカーが実出荷した日(メーカーの出荷日) (西暦) [20130925]  
 卸売業がメーカーに引取りに来た引渡日
- (12) 着荷予定日 (数字 8桁) 卸売業に着荷する予定日(着荷日) (西暦) [20130925]
- (13) 納入予定時間 (数字 4桁) 卸売業に、納品出来る予定時間 (時分) [0830]
- (14) 倉庫コード (文字 4桁) メーカーの出荷倉庫を識別したい場合 (相対利用) [1825]
- (15) 伝送区分 (文字1桁) 請求・支払データを伝送する場合のデータの発生区分 [1]  
 1: 全部送信 (出荷報告提供済データも送る)  
 2: 違算分送信(前残再請求分データ)  
 b: 無指定
- (16) 出荷報告以外区分 (文字1桁) 請求・支払データの作成の時、出荷報告データとの関係を指定する [0]  
 0: 提供(出荷報告提供済データ)  
 1: 未提供(出荷報告未提供データ)  
 2: 再請求(前残再請求分データ)  
 b: 無指定
- (17) 集計明細区分 (文字1桁) 請求・支払データを明細または伝票集計での作成区分 [b]  
 b: 明細単位で作成  
 1: 伝票(集計)単位で作成
- (18) 請求締日 (数字 8桁) 提供企業(メーカー)の請求最終締日(西暦) [20131031]  
 (休日を無視しても可能)
- (19) 請求口座 (文字10桁) 提供企業(メーカー)の請求口座コードを指定 [12345678]  
 (提供企業が設定、4~10桁で指定する)
- (20) 請求支払区分 (数字2桁) 請求・支払データのデータの発生区分を指定する [00]  
 00: 今回分請求・今回分支払  
 10: 前回分請求・今回未払分  
 20: 請求控除・支払控除  
 bb: 無指定
- (21) 明細行数 (数字 2桁) 1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数(00,01~06) [04]  
 (伝票集計単位の時でも、[01]を指定する)
- (22) 一次店コード (文字13桁) 卸売業の請求取引先コード [02100001]
- (23) 二次店コード (文字13桁) 直送する場合の二次店の取引先コード [03510011]
- (24) 三次店コード (文字13桁) 直送する場合の三次店の取引先コード [08510021]  
 センター納品する場合のセンターの取引先コード [1100]  
 (プライベートコード可)
- (25) 届け先コード (文字13桁) 通常は、納品する届け先の取引先コード [02100001]  
 センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード
- (26) チェーン店コード (文字13桁) 店舗コード (プライベートコード可) [1011]

	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)
・店入れ(倉入れ)	A卸売業			A卸売業	
・店入れ(卸支店倉入れ)	A卸売業			A卸B支店	
・店入れ(センター納品)	A卸売業		(納品センター)	A卸C支店	
・直送(二次店デポ納品)	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送(三次店デポ納品)	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送(二次スーパー店舗)	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送(二次スーパー店舗) (センター納品)	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	b	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)
		中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001~999)
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001~9999)
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(491234500001c)
		事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)
卸プライベートコード	7		3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789
メーカープライベートコード	8		3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679

- (27) 専用伝票日付 (数字 8桁) 専用伝票がある場合の専用伝票の日付 (西暦) [20130926]
- (28) 専用伝票No. (数字 9桁) 専用伝票がある場合の専用伝票No. [123456789]
- (29) 元伝年月日 (数字 8桁) メーカーが訂正した元の伝票のメーカー出荷年月日(西暦) [20130914]
- (30) 元伝No. (数字8桁) メーカーが訂正した元の伝票のメーカー伝票No. [00123456]
- (31) 伝票合計金額符号 (文字 1桁) 伝票合計金額の符号 [ + ]  
[b] / [+] : 正符号  
[-] : 負符号
- (32) 伝票合計金額 (数字 8桁) 明細の卸店入金額の伝票単位の合計金額 [00094500]  
(※ 最終明細行のみセットでも良い)  
(※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)
- (33) 二次店納入合計金額符号 (文字 1桁) 二次店納入合計金額の符号 [ + ]  
[b] / [+] : 正符号  
[-] : 負符号
- (34) 二次店納入合計金額 (数字 8桁) 明細の二次店納入金額の伝票単位の合計金額 [00082035]  
(※ 最終明細行のみセットでも良い)  
(※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)
- (35) 一次店名 (文字 40桁) 一次店名を指定する  
英数カナの場合(30文字) [イヌモ ショクベン トキョウ]  
漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) [出雲商事 東京]
- (36) 二次店名 (文字 40桁) 二次店名を指定する  
英数カナの場合(30文字) [マツエ ショウテン]  
漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) [松江商店]
- (37) 三次店名 (文字 40桁) 三次店名(センター納品先名)を指定する  
英数カナの場合(30文字) [ヤスキ ストア]  
漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) [安来ストア]
- (38) 届け先名 (文字 40桁) 届け先名を指定する  
英数カナの場合(30文字) [マツエ ショウテン Aヤウ]  
漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) [松江商店 A倉庫]
- (39) チェーン店名 (文字 40桁) チェーン店名(店舗名)を指定する  
英数カナの場合(30文字) [シジツ コテン]  
漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) [宍道湖店]
- (40) 電話番号 (文字 15桁) 届け先の電話番号を指定する(“-”を含む) [0852-92-3199]
- (41) 住所 (文字 80桁) 届け先の住所を指定する  
英数カナ(60文字) [シマネン マツエ アホバ タイ 2-11-1]  
漢字の場合は、実質は30文字 [島根県松江市青葉台2-11-1]
- (42) 摘要 (文字 50桁) 伝票ヘッダー部の摘要の文字を指定する  
英数カナ(50文字) [オンライン トクテンアリ コセンチュウ ニ ノケン]  
漢字の場合は、実質は25文字 [オンライン特伝あり 午前中に納品]
- (43) メーカー・コード (文字 9桁) メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) [4912345bb]  
(49xxxxx /45xxxxxxxx)
- (44) メーカー所属組織名 (英数カナ文字 10桁) メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定  
(実質、運用上はスペースが多い) [マツエ シテン]
- (45) 伝票区分 (数字 1桁) 伝票発行区分を指定する [0]  
0 : 菓子統一伝票  
1 : フェンストア統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票No.が印刷されていないもの)  
2 : 専用伝票(伝票No.あり) (専用伝票No.を表示できるもの)  
3 : 専用伝票(伝票No.なし) (専用伝票だが、元伝No.を表示できないもの)  
4 : フェンストア統一伝票 (ターンアラウンド用)  
8 : 伝票レス (流通BMS等で、伝票レス納品の場合)
- (46) 登録店区分 (文字 1桁) メーカー登録店区分を指定する [0]  
b : 無指定  
0 : 登録店以外  
1 : 登録店

- (47) 定番特売区分 (文字 1桁) 定番発注/特売発注を指定する [0]  
 0 : 定番  
 1 : 特売  
 b : 分類不能
- (48) 消費税区分 (文字 1桁) 消費税の税区分を指定する [1]  
 1 : 外税  
 2 : 内税  
 3 : 非課税  
 b : 個別判断
- (49) 消費税率 (数字3桁) 消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) [050]  
 "050" : 消費税 : 5.0 %
- (50) ロット不足運賃負担区分 (文字 1桁) 発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 [ ]  
 b : 無指定  
 1 : 卸売業負担あり  
 2 : 卸売業負担なし
- (51) 取引先区分 (文字 1桁) 該当の項目の取引先の属性区分を指定する [ ]  
 b : 統一取引先コードを指定 または 無指定  
 6 : G L Nコードを指定  
 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定  
 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- |              |
|--------------|
| 取引先区分(一次店)   |
| 取引先区分(二次店)   |
| 取引先区分(三次店)   |
| 取引先区分(届け先)   |
| 取引先区分(チェーン店) |
- ※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする
- (56) 日本語区分 (文字 1桁) 該当の項目の日本語の区分を指定する [ ]  
 b / 0 : 英数カナを指定 または 無指定  
 1 : 漢字を指定  
 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による)  
 (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)
- |              |
|--------------|
| 日本語区分(一次店)   |
| 日本語区分(二次店)   |
| 日本語区分(三次店)   |
| 日本語区分(届け先)   |
| 日本語区分(チェーン店) |
| 日本語区分(住所)    |
| 日本語区分(摘要)    |
- (63) ヘッダー予備 原則、スペース・クリアーとする
- (64) ヘッダー一部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁) 現行フォーマットから新規フォーマットに自動コンバートする場合に  
 現行フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリアを連携する  
 新規フォーマットでは、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である
- (65) 明細行No. (数字 2桁) 1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01~06) [01]
- (66) 専用伝票行No. (数字 2桁) 専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する [00]  
 (00~30)
- (67) 商品コード識別区分 (数字 1桁) 次の品番(商品コード)の識別区分を指定する [品番へのセット値]

0	統一商品コード メーカー・コードが7桁の場合 [000]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカー・コードが9桁の場合 [0]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]
1	I T Fコード(14桁) メーカー・コードが7桁の場合 [P]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [P]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013 ] [14912345671018 ]
2	I T Fコード(16桁) <b>【利用停止化】</b> メーカー・コードが7桁の場合 [OPP]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [OPP]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[0104912345100022] [0104912345672031]
3	J A Nコード(標準:13桁) メーカー・コードが7桁の場合 [メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030 ] [4912345672032 ]
4	J A Nコード(短縮:8桁) [メカ識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[49778816 ]
6	G T I Nコード(14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メカ・コード*7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メカ・コード*9桁]+[アイテム3桁]+[C] J A N(短縮:8桁)の場合 [000000]+[メカ識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013 ] [14912345671018 ] [04912345100030 ] [04912345672032 ] [0000049778816 ]

- (68) 品番 (文字 16桁) 上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする
- (69) 商品名 (文字 50桁) 商品名を表記する (規格表示+商品固有名称)  
 (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート ]  
 (漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [ X X 75 g ミルクチョコ ]
- (70) 包装区分 (数字 1桁) 数量の発注単位を指定する  
 1 : ケース発注 (外箱/カルトン) [1]  
 2 : ボール発注 (内箱) [2]  
 3 : バラ発注 (単品) [3]
- (71) ボール内バラ数 (数字 6桁)(小数点以下2桁) ボール(内箱)内の単品の入数 (小数点以下2桁)

(72) ケース内ボール数 (数字 2桁)	ケース (外箱) 内のボール (内箱) の入数 ＜ボール内バラ数＞    ＜ケース内ボール数＞	＜バラ換算数量＞
	(1: ケース発注の時)    [001200]    [06]	[ケース数×72]
	(2: ボール発注の時)    [001200]    [00]	[ボール数×12]
	(3: バラ発注の時)    [000000]    [00]	[バラ数×1]
(73) 数量符号 (文字 1桁)	以下の数量の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]
(74) ケース数量 (数字 7桁)	(1: ケース発注の時に、発注ケース数量を指定する) (ボール/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]
(75) ボール数量 (数字 7桁)	(2: ボール発注の時に、発注ボール数量を指定する) (ケース/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]
(76) バラ数量 (数字 9桁) (小数点以下2桁)	(3: バラ発注の時に、発注バラ数量を指定する) (ケース/ボール発注の時に、バラ換算数量を指定する)	[0000010] [0000120]
(77) 卸店入価格 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	卸売業納入単価 (建値) を指定する→伝票金額 (バラ単価を指定)	[00008400]
(78) 二次店納入価格 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	二次店納入単価 (正味単価等) を指定する→正味金額 (バラ単価を指定)	[00007800]
(79) 金額符号 (文字 1桁)	以下の金額の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]
(80) 卸店入金額 (数字 8桁)	(卸店入価格×バラ数量)    (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00010800]
(81) 二次店納入金額 (数字 8桁)	(二次店納入価格×バラ数量)    (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00009360]
(82) 商品添付区分 (文字 1桁)	相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 b : 通常商品    (通常、単価/金額はゼロ以外となる) 1 : 現物添付    (通常、単価/金額はゼロとなる) 2 : 見本    (通常、単価/金額はゼロとなる) 3 : 景品    (通常、単価/金額はゼロとなる)	[ ]
(83) 欠品区分 (数字 2桁)	商品の出荷状況を指定する 00 : 正常 01 : 品切れ    (一部、欠品は除く) 02 : 終売    (終売のため、欠品とする) 03 : 未発売    (未発売のため、欠品とする) 04 : コード訂正    (別コード商品で出荷)	[00]
(84) 入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する (一般品の場合は、00または01をセットする)	[0] [3]
(85) 単価計算区分 (文字 1桁)	単価×数量の計算方法を指定する (小数点以下端数の計算処置方法) b : 切り捨て 1 : 切り上げ 2 : 4捨5入	[ ]
(86) 卸発注行番号 (数字 2桁)	卸売業での発注伝票行No.を指定 ( 00 , 01~99 )	[ ] [07]
(87) 卸最新在庫日付区分 (文字 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する    (相対運用) b : 未使用    卸最新在庫日付運用をしない場合 1 : 製造日    卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限    卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合	[ ] [1] [2]
(88) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回返に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用    卸最新在庫日付運用をしない場合 製造日    卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 賞味期限    卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20131018] [20141018] [20141031]
(89) 入庫許容日付区分 (文字 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する    (相対運用) b : 未使用    入庫許容日付運用をしない場合 1 : 製造日    入庫許容日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限    入庫許容日付を賞味期限で表記する場合	[ ] [1] [2]
(90) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する    (相対運用) 未使用    入庫許容日付の運用をしない場合 製造日    入庫許容日付を製造日で表記する場合 賞味期限    入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20140118] [20150118] [20150131]
(91) 実入庫製品日付区分 (文字 1桁)	実入庫製品日付の日付区分を指定    (相対運用) b : 未使用    実入庫した製品日付運用をしない場合 1 : 製造日    実入庫した製品の日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限    実入庫した製品の日付を賞味期限で表記する場合	[ ] [1] [2]
(92) 実入庫製品日付 (数字 8桁)	メーカーが実入庫した製品の日付を指定する (相対運用) 未使用    実入庫した製品日付運用をしない場合 製造日    実入庫した製品の日付を製造日で指定する 賞味期限    実入庫した製品の日付を賞味期限で指定する (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20140118] [20150118] [20150131]
(93) 製造ロット番号 (文字10桁)	実入庫した製品のロット番号を指定する    (相対運用)	[2013053103]

(94) 温度管理区分 (文字 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する b/0 : 常温 1 : 28℃以下 2 : 20℃以下 3 : 冷蔵(10℃以下) (チルド: 5℃以下) 4 : 冷凍(-15℃以下)	[ ]
(95) 製品容器区分 (文字 1桁)	該当商品の製品・容器かを指定する b/0 : 製品 1 : 容器	[ ]
(96) 外箱G T I Nコード (文字 14桁)	実際に入庫する外箱のI T Fコードを指定する ケースの場合 : ケースのG T I Nをセットする ボールの場合 : ボールのG T I Nをセットする (運用上、単品G T I Nでも可)	[14912345000016]
(97) 摘要 (文字 50桁)	明細部の摘要の文字を指定する 英数カナ(50文字) [ｲﾝﾌﾞ ﾍﾟﾋﾟﾝ ﾏﾘ] 漢字の場合は、実質は25文字 [一部欠品あり]	
(98) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する b/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)	
(99) 菓子業界商品分類コード (文字 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する	[132335]
(101) 割戻1(2/3) : 割戻計算区分 (文字 1桁)	割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分 b : 切り捨て 1 : 切り上げ 2 : 4捨5入	[131011] [ ]
(102) 割戻1(2/3) : 割戻区分 (文字 1桁)	割戻の条件区分を指定する (相対で運用) b : 指定なし 1~9 : 相対でコード設定する	[ ] [1]
(103) 割戻1(2/3) : 割戻基準 (文字 1桁)	割戻の基準の区分を指定する (相対で運用) b : 割戻率 1 : 割戻単価 2 : 割戻金額	[ ] [1]
(104) 割戻1(2/3) : 割戻率/単価 (数字6桁)	(少数点以下2桁) (相対で運用) 割戻率 : 割戻率を右詰めで指定 [ 4. 5% ] 割戻単価 : 割戻単価を銭単位で指定 [ 3. 6円 ] 割戻金額 : ゼロを指定	[000450] [000360] [000000]
(105) 割戻1(2/3) : 割戻符号 (文字 1桁)	割戻金額の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]
(106) 割戻1(2/3) : 割戻金額 (数字8桁)	割戻金額を円単位で指定 (相対で運用) (割戻計算結果を金額で指定 (円単位) )	[00000125]
(107) 割戻1(2/3) : 割戻コード (文字 5桁)	割戻の種類を表示する時に指定す (相対で運用) 運賃補助の種類、キャンペーン・コード等を指定	[1101 ] [1]
(117) 明細部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	現行フォーマットから新規フォーマットに自動コンバートする場合に 現行フォーマットの明細レコードの予備エリアを連携する 新規フォーマットでは、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	

### 3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[23 : 出荷報告データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定	[01010001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす	[9]
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く)	[000545]
(6) 伝票枚数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数	[000120]
(7) 合計金額符号 (文字 1桁)	合計金額の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する	[0001200650]
(9) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(10) 連携エリア (英数カナ文字 20桁)	現行フォーマット⇒新規フォーマットに変換された場合の 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用)	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]

## I. システムの目的とねらい

販売報告データは、卸売業がメーカーに対して、小売店への販売実績を提供し、メーカーは、販売報告データをマーケティング情報・販売促進活動等に活用する

## 1. データの利用目的

- ① 諸契約の実績として活用・・・期間契約費、販売促進費、割戻し等の算出基礎となる
- ② マーケティングデータとして活用
  - ・実績進捗管理として、地域別、企業別、店舗別、商品別に情報提供する
  - ・商談、販売対策立案、新製品動向把握 に活用する

## 2. データ提供サイクル

- ① 卸店は、メーカーの要望により、下記のいずれかで提供する。
  - ・日次 日次明細データ 3日後程度で提供
  - ・旬次 旬次集計データ 5日後程度で提供
  - ・月次 月次集計データ 10日後程度で提供  
(年末・年始のデータの取り扱いは、当事者間で協議する)
- ② データの発生単位は、当事者間で協議する
  - ・小売業または卸売業でのデータ発生単位での提供
  - ・店舗別／製品別単位で集計しての提供

## II. システム運用方法

## 1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より、販売報告データをeお菓子ねっとセンターに送信する  
(1回の送信で、複数のメーカーへの送信が可能であるが、データ量には注意する)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の販売報告データを受け取る  
(1回の受信で、複数の卸売業からの販売報告データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
  - ・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
  - ・次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))
  - ・Web2008システム(インターネット利用)

## 2. データの授受

- ・通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ30分以内に、メーカーが受信可能となる  
(ピーク時間帯は、最大60分程度要する)

## 3. 訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める(追加訂正を原則とする)

## 4. 運用確認事項

- ① データの提供
  - ・メーカーからの要望により、卸売業は日次・旬次・月次での処理を行う。
  - ・双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を定める
  - ・1日分のデータが2日に別れて提供される場合がある
  - ・利用者と休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、運用締日等には注意する
- ② テスト方法
  - ・店舗別売上明細表等との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 店舗別売上明細表等の廃止
- ④ 運用ルールを明確にする
  - (1) データ作成時期
    - ・販売報告データの作成時期、作成単位を決定し、月の締日運用等も考慮する
  - (2) コード管理
    - 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
  - (3) トラブル対応
    - 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
    - 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
    - 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータの照合を行い、問題を解決する
- ⑥ メーカー売上管理システムの構築
  - ・旬次・月次に売上実績把握を行う場合はその締日まで、販売報告データを蓄積して、一括更新する
  - ・日次に売上実績把握を行う場合は、日々、売上管理システムに更新する
  - ・売上管理システムの構築  
(蓄積した販売報告データを、日々または締日毎に売上管理システムに繰り入れる)

Ⅲ. レコード構成

1. [販売報告データ]のレコード構成

コントロール・レコード	1	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-001	(1200桁)	}	(同一ヘッダーmax999明細)
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-006	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-011	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-016	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-021	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-026	(1200桁)	}	同一送信先単位
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-001	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-006	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-011	(1200桁)	}	(同一ヘッダーmax999明細)
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-006	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-011	(1200桁)		
トレーラ・レコード	9	(1200桁)		
コントロール・レコード	1	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-001	(1200桁)	}	(同一ヘッダーmax999明細)
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-006	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-001	(1200桁)	}	(同一ヘッダーmax999明細)
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-006	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-011	(1200桁)		
ヘッダー(450)/5明細(150)レコード	3-016	(1200桁)		
トレーラ・レコード	9	(1200桁)		

Ⅳ. 販売報告データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[43 : 販売報告データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	卸売業が販売報告データ作成した西暦日付を指定	[20130925]
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	卸売業が販売報告データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イモ ショクビ トウキョウ]
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録 変更しない場合はゼロを指定する)	[02100011] [00000000]
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[イモ ショクビ オウカ] [ ]
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]
(12) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	現行フォーマット⇒新規フォーマットに変換された場合の 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用)	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]

2. ヘッダー／明細レコード

- ※ 伝票ヘッダー情報と5明細情報を一体化したレコードを作成する
- ※ 明細データのセットを行わない場合（販売報告データの横持ちの設定要領）  
⇒無効な明細は明細全体でスペースをセットする  
(ex. 2明細まで有効 → 3明細目～5明細目は全体をスペースセット)
- ※ 1伝票ヘッダーに対して、max999明細を限度とする 明細行No.は(001～999)

- (1) データ種別 (数字 2桁) 販売報告データであることを表わす [43 : 販売報告データ]
- (2) 送信先コード (数字 8桁) 送信先（メーカー）の拠点取引先コードを指定 [01010001]
- (3) 送信元コード (数字 8桁) 送信元（卸売業）拠点取引先コードを指定 [02841001]
- (4) レコード区分 (数字 1桁) ヘッダー明細レコードであることを表わす [3]
- (5) 漢字コード区分 (文字 1桁) e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が（未登録は2 : JIS）セットされてくる（1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M）
- (6) 対象期間（自） (数字 8桁) 販売実績の該当年月日（開始日）（西暦） [20130901]  
日次：売上日、旬次：旬初日、月次：月初日
- (7) 対象期間（至） (数字 8桁) 販売実績の該当年月日（終了日）（西暦） [20130930]  
日次：売上日、旬次：旬末日、月次：月末日
- (8) 取引コード (数字 2桁) 卸売業-小売業間の取引形態をあらわす（菓子業界統一取引コード）  
11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 12 : 店入売上訂正  
21 : 店入返品 店入れ分の返品 22 : 店入返品訂正  
31 : 直送売上 直送分の通常出荷 32 : 直送売上訂正  
41 : 直送返品 直送分の返品 42 : 直送返品訂正  
51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 52 : 相殺 売上相殺する場合
- (9) 一次店コード (文字13桁) 卸売業の請求先取引先コード [02100001]
- (10) 二次店コード (文字13桁) 直送する場合の二次店の取引先コード [03510011]
- (11) 三次店コード (文字13桁) 直送する場合の三次店の取引先コード [08510021]  
センター納品する場合のセンターの取引先コード [1100]  
(プライベートコード可)
- (12) 届け先コード (文字13桁) 通常は、納品する届け先の取引先コード [02100001]  
センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード
- (13) チェーン店コード (文字13桁) 店舗コード（プライベートコード可） [1011]

	<一次店>	<二次店>	<三次店>	<届け先>	<チェーン店>
・直送（二次店デポ納品）	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送（三次店デポ納品）	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送（二次スーパー店舗）	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送（二次スーパー店舗） （センター納品）	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	a	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)
	b	中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001～999)
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001～9999)
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(491234500001c)
	6	事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)
卸プライベートコード	7		3～13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789
メーカープライベートコード	8		3～13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679

- (14) 一次店名 (文字 40桁) 一次店名を指定する  
英数カナの場合（30文字） [イヌモシヨクヒトクキョウ]  
漢字の場合は、実質は15文字（伝票表示上） [出雲商事 東京]
- (15) 二次店名 (文字 40桁) 二次店名を指定する  
英数カナの場合（30文字） [マツエ ショウテン]  
漢字の場合は、実質は15文字（伝票表示上） [松江商店]
- (16) 三次店名 (文字 40桁) 三次店名を指定する  
英数カナの場合（30文字） [ヤスキストア]  
漢字の場合は、実質は15文字（伝票表示上） [安来ストア]
- (17) 届け先名 (文字 40桁) 届け先名を指定する  
英数カナの場合（30文字） [マツエ ショウテン Aソコ]  
漢字の場合は、実質は15文字（伝票表示上） [松江商店 A倉庫]
- (18) チェーン店名 (文字 40桁) チェーン店名を指定する  
英数カナの場合（30文字） [シジツ コテン]  
漢字の場合は、実質は15文字（伝票表示上） [宍道湖店]

- (19) 消費税区分 (文字 1桁) 消費税の税区分を指定する [1]  
 1 : 外 税  
 2 : 内 税  
 3 : 非課税  
 b : 個別判断
- (20) 消費税率 (数字 3桁) 消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) [050]  
 "050" : 消費税 : 5.0 %
- (21) 取引先区分 (文字 1桁) 該当の項目の取引先の属性区分を指定する [ ]  
 b : 統一取引先コードを指定 または 無指定  
 6 : G L Nコードを指定  
 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定  
 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- |              |
|--------------|
| 取引先区分(一次店)   |
| 取引先区分(二次店)   |
| 取引先区分(三次店)   |
| 取引先区分(届け先)   |
| 取引先区分(チェーン店) |
- ※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする
- (26) 日本語区分 (文字 1桁) 該当の項目の日本語の区分を指定する [ ]  
 b/0 : 英数カナを指定 または 無指定  
 1 : 漢字を指定  
 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による)  
 (S-JIS漢字 / I B M漢字 / J E F漢字 / J I S漢字)
- |              |
|--------------|
| 日本語区分(一次店)   |
| 日本語区分(二次店)   |
| 日本語区分(三次店)   |
| 日本語区分(届け先)   |
| 日本語区分(チェーン店) |
- (31) ヘッダー予備 原則、スペース・クリアーとする
- (32) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁) 現行フォーマットから新規フォーマットに自動コンバートする場合に  
 現行フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリアを連携する  
 新規フォーマットでは、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である
- (33) 明細行No. (数字 3桁) 1ヘッダー内の明細行No.を指定する (001~999) [01]
- (34) 商品コード識別区分 (数字 1桁) 次の品番(商品コード)の識別区分を指定する [品番へのセット値]

0	統一商品コード メーカーコードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカーコードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]
1	I T Fコード (14桁) メーカーコードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013 ] [14912345671018 ]
2	I T Fコード (16桁) <b>【利用停止化】</b> メーカーコードが7桁の場合 [OPP]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [OPP]+[メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[0104912345100022] [0104912345672031]
3	J A Nコード (標準: 13桁) メーカーコードが7桁の場合 [メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030 ] [4912345672032 ]
4	J A Nコード (短縮: 8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[49778816 ]
6	G T I Nコード (14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C] J A N (短縮: 8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013 ] [14912345671018 ] [04912345100030 ] [04912345672032 ] [0000049778816 ]

- (35) 品番 (文字 16桁) 上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする
- (36) 商品名 (文字 50桁) 商品名を表記する (規格表示+商品固有名称)  
 (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75g ミルクチョコレート ]  
 (漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [ X X 75 g ミルクチョコ ]
- (37) バラ総数符号 (文字 1桁) 以下の数量の符号を指定 [+]  
 b/+ : 整数 (プラス)  
 - : 負数 (マイナス)
- (38) バラ総数 (数字 9桁) 販売バラ換算数量を指定する [000001000]
- (39) ケース(ボール)当り入数 (数字 4桁) ケース(外箱)内の単品(バラ)の入数 [0120]  
 ボール(内箱)内の単品(バラ)の
- (40) ケース(ボール)数量 (数字 7桁) ケース単位の時に、販売ケース数量を指定する [0000002]  
 ボール単位の時に、販売ボール数量を指定する [0000000]
- (41) 販売単価区分 (文字 1桁) 単価がケース単価か、ボール単価か、バラ単価を指定する [ ]  
 b/3 : バラ単価 [ ]  
 1 : ケース単価 [1]  
 2 : ボール単価 [2]
- (42) 単価 (数字9桁)(小数点以下2桁) 前記単位の単価 [000008400]  
 (バラ単価/ケース単価/ボール単価)

(43) 金額符号 (文字 1桁)	以下の金額の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	
(44) 金額 (数字 8桁)	(単価 * 数量 (バラ総数 or ケース数量) (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00010800]	
(45) 定番特売区分 (文字 1桁)	定番発注 / 特売発注を指定する 0 : 定番 1 : 特売 b : 分類不能	[0]	
(46) 納品日 (数字 8桁)	小売業等へ納品した日 (西暦)	[20130926]	
(47) 倉出・合計区分 (文字 1桁)	実績が倉出しを含むか、直送のみかを指定 b : 無指定 0 : 倉出し+直送 1 : 倉出しのみ	[0]	
(48) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する b/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字 / IBM漢字 / JEF漢字 / JIS漢字)		
	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>日本語区分 (商品名)</td></tr></table>	日本語区分 (商品名)	
日本語区分 (商品名)			
(87) 菓子業界商品分類コード (文字 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する	[132335]	
(88) 明細予備	原則、スペース・クリアーとする		
(89) 明細部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	現行フォーマットから新規フォーマットに自動コンバートする場合に 現行フォーマットの明細レコードの予備エリアを連携する 新規フォーマットでは、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		

### 3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード (1件) を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[43 : 販売報告データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先 (メーカー) の拠点取引先コードを指定	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元 (卸売業) 拠点取引先コードを指定	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす	[9]
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く)	[000545]
(6) 伝票枚数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数	[000120]
(7) 合計金額符号 (文字 1桁)	以下の数量の符号を指定 b/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する	[0001200650]
(9) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(10) 連携エリア (英数カナ文字 20桁)	現行フォーマット⇒新規フォーマットに変換された場合の 予備エリアの先頭20桁がセットされる (相対で使用)	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]